# 第2章 水道事業の沿革

#### 1. 印西市の地域特性

#### 1)市の概要

印西市は平成22年3月23日に、印西市、印旛村、本埜村の1市2村が合併し、現在の印西市となりました。

本市は千葉県の北西部に位置し、東京都心から約 40km、千葉市から約 20km、成田国際空港から約 15km の距離にあります。総面積は 123.8k ㎡、南東部を印旛沼、北西部を手賀沼、北部を利根川に囲まれ、標高 20~30m程度の平坦な台地と、湖沼周辺の低地により構成されています。

隣接する市町として、西は我孫子市・柏市・白井市に、南は八千代市・佐倉市・酒々井町に、東は成田市・栄町に、北は利根川を隔てて茨城県に接しています。

台地部には畑・山林の他に千葉ニュータウン地区が東西に広がり、良好な住環境に加え、 大型商業施設、大学、病院など多くの都市機能が集積しています。一方で、低地部には恵 まれた水環境により水田地帯が形成され、良好な農業環境とともに里山など豊かな自然環 境が広がっています。

このように都市環境と自然環境が調和し、平成22年7月の成田スカイアクセス開通により、東京と成田国際空港の中間に位置するという優位性が更に高まり、産業・経済・文化など、どの分野においても将来性があり、更なる発展が期待されています。

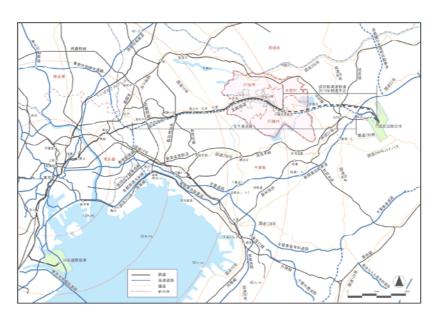


図 2-1.印西市の位置

#### 2)市の人口推移

本市の人口は95,185人、世帯数36,504世帯(平成28年3月末現在)となっています。人口の推移は千葉ニュータウンの入居が始まった昭和59年以降、千葉県全体と比較しても、高い伸び率で人口が増加していきましたが、近年は若干伸び率が鈍化し緩やかな増加傾向となっています。

また、年齢別人口構成を見ると、全体として少子高齢化の傾向が現われていて、O~14歳人口割合の低下、65歳以上人口割合の増加が続いていますが、千葉県全体と比較すると、少子高齢化の速度は若干緩やかになっています。

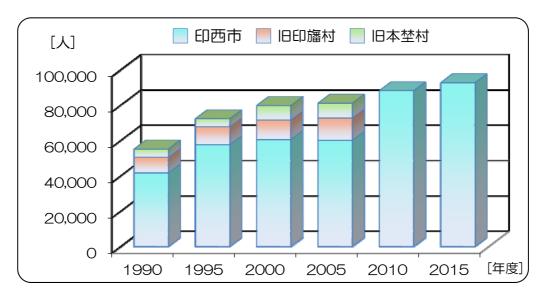


図 2-2.印西市行政区域内人口の推移(国勢調査より)

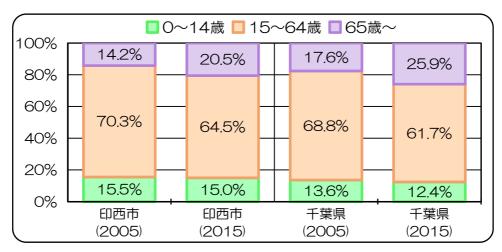


図 2-3.印西市と千葉県全体の3階級人口割合(国勢調査より)

## 2. 水道事業の沿革

#### 1) 印西市内の水道事業

現在、本市に給水している水道事業は、市営水道、県営水道、長門川水道企業団の3事業体があります

市営水道は、主に木下、大森、小林地区と松崎工業団地、千葉ニュータウン地区を除く 印旛地区の全域が計画給水区域となっています。更に、平成26年11月には、大森、小 林地区の一部とともに、中根、笠神地区の一部に計画区域を拡張したところです。県営水 道は、主に千葉ニュータウン地区内に給水を行っていて、長門川水道企業団は旧本埜村の 一部に給水を行っています。

また、市営水道のように一般家庭等に給水を行っている末端給水事業への用水供給のみを行う水道事業として印旛広域水道用水供給事業(以下、「印旛広域水道」という。)があります。現在、市営水道と長門川水道企業団では印旛広域水道から水道用水の供給を受けています。

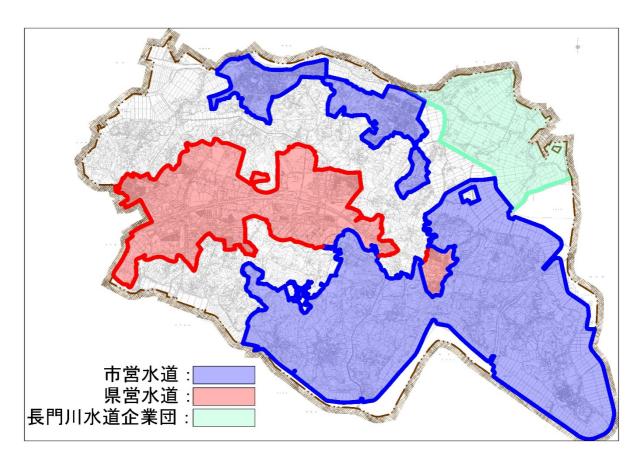


図 2-4.印西市内の各水道事業給水区域

# 2)水道事業の沿革

市営水道の沿革は以下のようになります。

表 2-1.市営水道(印西市水道事業)の沿革

計画名称	認可 年月日	計画目標年度	計画 給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 <sup>(m³/</sup> 日)	備考
創設事業認可	S52. 3.31	\$60	19, 600	8, 450	
給水開始	S57. 10				
創設変更認可	S58. 3.31	Н7	25, 600	11, 500	給水区域拡張 印旛広域水道の 受水開始
創設変更 変更届出	H26. 3.31	H35	38, 710	19, 290	印旛地区と統合
創設変更 変更届出	H26. 11. 17	H35	38, 710	19, 290	給水区域の拡張
創設変更 変更届出	H27. 1.19	H35	38, 710	19, 290	浄水方法の変更

表 2-2.印旛地区水道事業の沿革

計画名称	認可 年月日	計画目標年度	計画 給水人口 (人)	計画一日 最大給水量 <sup>(m³/</sup> 日)	備考
創設事業認可	S61. 4. 1	H7	7, 731	2, 630	
給水開始	S63. 4				
第1回拡張事業認可	H 9. 3.31	H22	13, 110	7, 790	給水量の変更 井戸の追加
廃止届出	H26. 3.31				統合のため

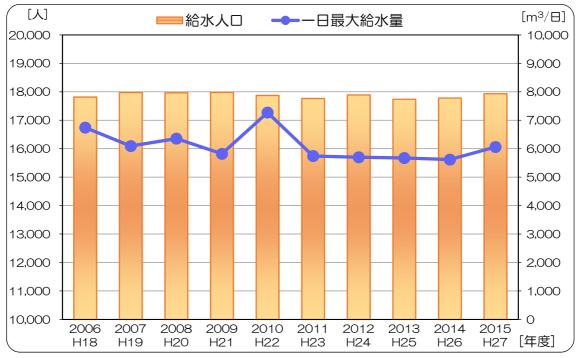


図 2-5.市営水道の実績給水人口・実績給水量

#### 3)水道事業の概要

#### (1)市営水道の施設概要

市営水道は次の配水フロー図のとおり3つの配水場ごとに系統が分かれています。

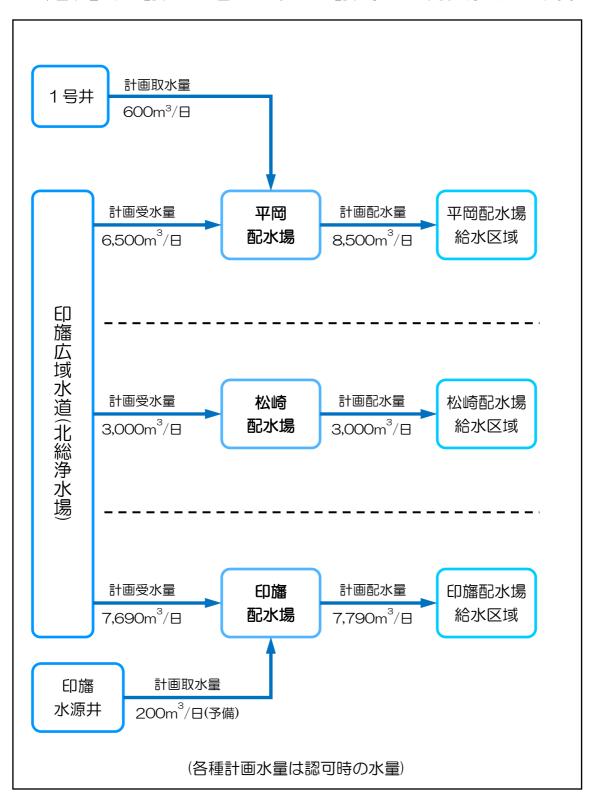


図 2-6.配水フロー図







図 2-7.給水区域

表 2-3.施設概要

名 称	位置、規模及び構造					
1号井	住 所	印西市別所地先				
	施工年度	昭和 57 年度				
	主な設備	深井戸: $\phi$ 300 × 120m 計画取水量 600m³/日				
		取水ポンプ: φ80×0. 42m³/分×66m×11kw				
平岡配水場	住 所	印西市別所 1289-1				
	施工年度	昭和 55 年度				
		配水池: 14.7m×34.5m×5.6m×1池 容量 2,565m³				
	主な設備	配水ポンプ: φ200×φ150× 4.0m³/分×35m×37kw×2 台				
		自家発電設備: 250kVA (ディーゼルエンジン)				
	住 所	印西市松崎台 1-9				
松崎配水場	施工年度	平成 17 年度				
		配水池:2池 容量1,043m3				
	主な設備	配水ポンプ: φ 125× 1.12m³/分×39m×15kw×3 台				
		自家発電設備:75kVA (ディーゼルエンジン)				
印旛水源井 -	住 所	印西市美瀬地先				
	施工年度	昭和 57 年度				
	主な設備	深井戸: φ 150 × 120m 計画取水量 200m³/日				
		取水ポンプ: $\phi$ 50 × 0. 24m³/分×60m × 3. 7kw				
印旛配水場	住 所	印西市美瀬 1-17				
	施工年度	昭和61年度(第1期),平成3年度(第2期)				
	主な設備	配水池: 15.0m×9.0m×4.0m×2池 容量 1,050m³				
		配水ポンプ: φ125×φ80× 1.90m³/分×35m×18.5kw×3 台				
		自家発電設備:100kVA (ディーゼルエンジン)				







平岡配水場

松崎配水場

印旛配水場(配水池)

#### (2)その他の水道事業の概要

### ・県営水道(千葉県水道局)

本市内にある県営水道の施設としては、木下取水場と北総浄水場があります。木下取水場では利根川の水を取水して、北総浄水場等へ送っています。

北総浄水場では浄水処理を行い、本市の主に千葉ニュータウン地区内や他市等の県営水道区域内へ送配水を行っています。

#### ・長門川水道企業団

長門川水道企業団は、水源を長門川と印旛広域水道の浄水受水としていて、本市に隣接 する栄町と本市内の本埜地区の一部に給水しています。

#### ・印旛広域水道

印旛広域水道は、県営水道の施設の使用許可を受けて、県営水道の施設から水道用水の 供給を行っています。

市営水道では、北総浄水場から平岡配水場、松崎配水場、印旛配水場に浄水の供給を受けています。また、長門川水道企業団の酒直配水場にも浄水を供給しています。

# (4)施設位置図



図 2-8.施設位置図